



平成 19年 3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19年 2月 2日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4202

本社所在都道府県

(URL <http://www.daicel.co.jp>)

大阪府

代 表 者 代表取締役社長 小川 大介

問合せ先責任者 IR広報グループリーダー 畑 理史

TEL (03) 6711 - 8121

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 2社 (除外) -社 持分法(新規) -社 (除外) 1社

2. 平成 19年 3月期第3四半期の財務・業績の概況(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 百万円単位表示の金額については百万円未満切捨て

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第3四半期	281,426	15.0	27,811	13.1	26,598	10.8	13,428	9.8
18年 3月期第3四半期	244,695	7.8	24,599	14.6	23,999	22.7	12,225	37.3
(参考) 18年 3月期	335,520		33,569		32,126		14,220	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第3四半期	37.10	—
18年 3月期第3四半期	33.80	—
(参考) 18年 3月期	39.16	—

(注) 売上高・営業利益・経常利益・四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第3四半期	547,469	237,981	38.6	584.24
18年 3月期第3四半期	483,829	191,756	39.6	529.76
(参考) 18年 3月期	483,468	197,779	40.9	546.29

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第3四半期	9,446	△ 43,208	37,473	18,868
18年 3月期第3四半期	21,094	△ 50,910	31,265	22,666
(参考) 18年 3月期	32,780	△ 60,030	19,588	14,350

3. 平成19年 3月期の連結業績予想(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

前回公表の通期の業績予想の見直しは行っておりません。

経営成績及び財政状態

I. 経営成績

当第3四半期までのわが国経済は、旺盛な設備投資と底堅い個人消費を背景とした堅調な国内需要と好調な輸出に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当第3四半期までの連結業績は、売上高2,814億26百万円(前年同期比15.0%増)、営業利益278億11百万円(前年同期比13.1%増)、経常利益265億98百万円(前年同期比10.8%増)、純利益134億28百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

事業部門別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主として液晶表示向けフィルム用途の需要の増加と、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の是正により、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、国内たばこ需要は漸減傾向にありますものの、大手たばこメーカーの拠点を始めとする海外向けの販売数量の増加とともに、販売価格是正や為替の影響もあって、売上高は増加いたしました。

WSP(水溶性高分子)は、国内における医薬・化粧品用途の販売増や、海外における石油ボーリング用途や化粧品用途の需要増などが寄与して、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、472億58百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は、85億99百万円(前年同期比24.9%増)となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、需要が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、堅調な需要に支えられ、原料高を背景に販売価格の是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

ファインケミカル製品は、電子材料向けなどの高機能品の販売に注力したことや販売価格の是正などにより、売上高は増加いたしました。

医薬中間体は、一部製品の販売増により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムは、カラム及び開発用充填剤は好調に推移いたしましたが、商業用充填剤は需要が減少し、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、690億3百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益は、77億57百万円(前年同期比13.5%増)となりました。

なお、当期より、一部機能性材料を「その他事業部門」から「有機合成事業部門」に移管しております。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、国内自動車分野向けや国内外の電子デバイス向けの需要が好調で、売上高は増加いたしました。

AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、汎用樹脂、高機能エンプラアロイ樹脂ともに販売が堅調に推移するとともに、当期より長繊維強化樹脂を売上計上したこともあって、売上高は増加いたしました。

シート事業は、一部不採算製品について事業撤退したことにより、売上高は減少いたしました。

成形容器、緩衝材などの製品事業は、厳しい市場競争が続く中、高付加価値製品の販売及び販売価格の是正に注力いたしましたが、売上高は減少いたしました。

フィルム事業は、主力製品であるバリアフィルムの拡販と非食品分野における事業拡大により、売上高は増加いたしました。

その他の樹脂加工事業は、土木資材分野において高耐圧ポリエチレン管の販売が増加いたしました。が、建築資材分野における一部製品の需要減少などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、1,203億40百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は、120億10百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

[火工品事業部門]

自動車のエアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、国内自動車生産台数が堅調に推移する中、特に側突系のインフレーターや、運転席・助手席用の新型インフレーターの販売が順調に推移していることに加え、海外市場における販売も好調で、売上高は大幅に増加いたしました。

特機事業は、発射薬については防衛庁（現 防衛省）の調達数量が減少いたしました。が、ミサイル構成部品については前年同期比横這い、航空機搭乗員緊急脱出装置については調達数量が増加いたしました。ため、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、401億25百万円（前年同期比32.6%増）、営業利益は、46億60百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

[その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療用途向けや下水処理用途向けの販売は堅調に推移いたしましたが、官需の不振により浄水場向けなどが減少し、売上高は減少いたしました。

その他新規機能性材料につきましては、当期より一部製品を「有機合成事業部門」に移管したことにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、46億97百万円（前年同期比22.1%減）、営業利益は、6億21百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

Ⅱ．財政状態

1．資産、負債及び純資産の状況

総資産は、新規設備投資による有形固定資産の増加や、原燃料価格の上昇によるたな卸資産の増加などにより、前期末に比し640億1百万円増加し、5,474億69百万円となりました。

負債は、有形固定資産の取得に伴う借入金の増加などにより、前期末に比し549億9百万円増加し、3,094億87百万円となりました。有利子負債は、前期末に比し486億60百万円増加して1,727億13百万円となり、総資産に占める有利子負債の割合は31.5%となりました。

また、純資産は、2,379億81百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,114億14百万円となり、自己資本比率は38.6%となりました。

2．当第3四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）のキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、94億46百万円（前年同期比55.2%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として売上債権及びたな卸資産の増加等による運転資金の増加や法人税等の支払額の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、432億8百万円（前年同期比15.1%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、374億73百万円（前年同期比19.9%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として短期借入及び長期借入による収入の増加であります。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比し45億18百万円増加し、188億68百万円（前期末比31.5%増）となりました。

(要約) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第3四半期 (平成17年12月31日)	当第3四半期 (平成18年12月31日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	増 減(△) (対平成18年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
(資 産 の 部)					
I	流 動 資 産	(179,035)	(205,640)	(172,343)	(33,297)
	現金及び預金	22,676	18,868	14,366	4,502
	受取手形及び売掛金	82,869	97,042	83,825	13,217
	有 価 証 券	230	24	63	△ 39
	た な 卸 資 産	58,715	74,564	59,512	15,052
	収用に係る未収入金	2,362	918	2,362	△ 1,444
	そ の 他	12,359	14,453	12,418	2,035
	貸 倒 引 当 金	△ 178	△ 231	△ 204	△ 27
II	固 定 資 産	(304,793)	(341,828)	(311,125)	(30,703)
	1. 有 形 固 定 資 産	(201,372)	(224,583)	(201,360)	(23,223)
	建物及び構築物	51,079	52,599	53,794	△ 1,195
	機械装置及び運搬具	72,581	86,265	83,775	2,490
	土 地	27,790	31,778	27,849	3,929
	建設仮勘定	45,976	49,918	31,825	18,093
	そ の 他	3,944	4,021	4,116	△ 95
	2. 無 形 固 定 資 産	7,630	7,367	7,558	△ 191
	3. 投資その他の資産	(95,790)	(109,876)	(102,206)	(7,670)
	投資有価証券	75,319	87,784	81,146	6,638
	収用に係る未収入金	6,192	5,363	6,282	△ 919
	そ の 他	14,767	17,285	15,178	2,107
	貸 倒 引 当 金	△ 489	△ 557	△ 401	△ 156
資 産 合 計		483,829	547,469	483,468	64,001

(注) 増減は当第3四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度	増 減(△)
		(平成17年12月31日)	(平成18年12月31日)	(平成18年3月31日)	(対平成18年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
(負債の部)					
I	流動負債	(146,335)	(151,582)	(133,419)	(18,163)
	支払手形及び買掛金	53,453	56,193	51,156	5,037
	1年以内に償還する社債	10,000	-	10,000	△ 10,000
	短期借入金	43,884	54,730	23,065	31,665
	1年以内に返済する長期借入金	11,719	13,604	19,323	△ 5,719
	未払法人税等	4,966	4,188	7,466	△ 3,278
	定期修繕引当金	-	1,034	-	1,034
	その他	22,311	21,830	22,408	△ 578
II	固定負債	(114,633)	(157,905)	(121,159)	(36,746)
	社 債	30,000	30,000	30,000	-
	長期借入金	38,155	74,379	41,664	32,715
	退職給付引当金	6,667	8,237	7,894	343
	定期修繕引当金	-	429	-	429
	圧縮記帳特別勘定	22,580	22,580	22,580	-
	その他	17,229	22,278	19,019	3,259
負債合計		260,968	309,487	254,578	54,909
(少数株主持分)					
少数株主持分		31,104	-	31,110	-
(資本の部)					
I	資 本 金	36,275	-	36,275	-
II	資 本 剰 余 金	31,572	-	31,573	-
III	利 益 剰 余 金	96,487	-	98,482	-
IV	その他有価証券評価差額金	29,854	-	32,704	-
V	為替換算調整勘定	△ 1,361	-	△ 156	-
VI	自 己 株 式	△ 1,072	-	△ 1,099	-
資本合計		191,756	-	197,779	-
負債、少数株主持分及び資本合計		483,829	-	483,468	-
(純資産の部)					
I	株 主 資 本	(-)	(175,642)	(-)	(-)
	資 本 金	-	36,275	-	-
	資 本 剰 余 金	-	31,574	-	-
	利 益 剰 余 金	-	108,959	-	-
	自 己 株 式	-	△ 1,167	-	-
II	評 価 ・ 換 算 差 額 等	(-)	(35,771)	(-)	(-)
	その他有価証券評価差額金	-	34,922	-	-
	繰延ヘッジ損益	-	71	-	-
	為替換算調整勘定	-	776	-	-
III	少 数 株 主 持 分	-	26,567	-	-
純 資 産 合 計		-	237,981	-	-
負 債 純 資 産 合 計		-	547,469	-	-

(注) 増減は当第3四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(要約) 第3四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	前年第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		増 減(△) (対前年第3四半期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
I 売 上 高	244,695	100.0	281,426	100.0	335,520	100.0	36,731	15.0
II 売 上 原 価	180,792	73.9	212,501	75.5	248,791	74.2	31,709	17.5
売 上 総 利 益	63,903	26.1	68,925	24.5	86,729	25.8	5,022	7.9
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	39,303	16.0	41,113	14.6	53,159	15.8	1,810	4.6
営 業 利 益	24,599	10.1	27,811	9.9	33,569	10.0	3,212	13.1
IV 営 業 外 収 益	2,209	0.9	2,550	0.9	3,054	0.9	341	15.4
受 取 利 息	256		465		358		209	
受 取 配 当 金	506		638		514		132	
持分法による投資利益	303		345		449		42	
為 替 差 益	555		340		792		△ 215	
そ の 他	588		760		938		172	
V 営 業 外 費 用	2,809	1.2	3,763	1.3	4,496	1.3	954	34.0
支 払 利 息	1,393		2,258		2,028		865	
そ の 他	1,416		1,504		2,468		88	
経 常 利 益	23,999	9.8	26,598	9.5	32,126	9.6	2,599	10.8
VI 特 別 利 益	6,075	2.5	52	0.0	6,990	2.1	△ 6,023	△99.1
固 定 資 産 処 分 益	171		50		174		△ 121	
投資有価証券売却益	526		1		594		△ 525	
補 助 金 収 入	1,570		-		2,217		△ 1,570	
圧縮記帳特別勘定取崩益	3,807		-		3,807		△ 3,807	
移 転 補 償 金	-		-		197		-	
VII 特 別 損 失	5,972	2.5	978	0.4	9,732	2.9	△ 4,994	△83.6
固 定 資 産 除 却 損	574		905		1,367		331	
減 損 損 失	19		73		1,149		54	
固 定 資 産 圧 縮 損	5,377		-		6,024		△ 5,377	
過年度退職給付費用	-		-		1,190		-	
税 金 等 調 整 前 四半期(当期)純利益	24,102	9.8	25,672	9.1	29,385	8.8	1,570	6.5
法人税、住民税及び事業税	7,178	2.9	9,129	3.2	10,416	3.1	1,951	27.2
法 人 税 等 調 整 額	1,783	0.7	△ 264	△0.1	1,115	0.4	△ 2,047	
少 数 株 主 利 益	2,914	1.2	3,379	1.2	3,632	1.1	465	16.0
四半期(当期)純利益	12,225	5.0	13,428	4.8	14,220	4.2	1,203	9.8

(要約)第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第3四半期 〔自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日〕	当第3四半期 〔自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日〕	前連結会計年度 〔自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日〕
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		24,102	25,672	29,385
減価償却費		16,205	17,472	22,484
受取利息及び受取配当金		△ 762	△ 1,103	△ 872
支払利息		1,393	2,258	2,028
固定資産売却損益		403	854	1,193
売上債権の増減額(増加：△)		△ 3,978	△ 12,582	△ 4,473
たな卸資産の増減額(増加：△)		△ 6,217	△ 14,525	△ 6,472
仕入債務の増減額(減少：△)		2,354	4,594	△ 603
その他の		△ 4,143	213	△ 276
小計		29,357	22,854	42,392
利息及び配当金の受取額		746	1,324	1,007
利息の支払額		△ 1,314	△ 2,167	△ 1,968
法人税等の支払額		△ 7,694	△ 12,564	△ 8,650
営業活動によるキャッシュ・フロー		21,094	9,446	32,780
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		△ 50,397	△ 42,761	△ 57,587
有形固定資産の売却による収入		173	2,086	179
無形固定資産の取得による支出		△ 1,016	△ 747	△ 1,430
投資有価証券の取得による支出		△ 750	△ 2,501	△ 2,225
投資有価証券の売却等による収入		2,492	48	3,057
貸付けによる支出		△ 1,103	△ 1,434	△ 1,007
貸付金の回収による収入		423	1,051	348
その他の		△ 733	1,049	△ 1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 50,910	△ 43,208	△ 60,030
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(減少：△)		25,694	31,492	4,924
長期借入による収入		18,434	42,797	33,573
長期借入金の返済による支出		△ 8,430	△ 16,230	△ 13,100
社債の償還による支出		-	△ 10,000	-
自己株式の取得による支出		△ 59	△ 69	△ 86
自己株式の売却による収入		372	3	372
配当金の支払額		△ 3,255	△ 2,895	△ 3,255
少数株主への配当金の支払額		△ 1,490	△ 7,624	△ 2,840
財務活動によるキャッシュ・フロー		31,265	37,473	19,588
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,002	387	1,797
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)		2,451	4,098	△ 5,864
VI 現金及び現金同等物の期首残高		16,639	14,350	16,639
VII 新規連結子会社増加による現金及び現金同等物の増加額		3,575	419	3,575
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		22,666	18,868	14,350

セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前年第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,850	61,797	105,747	30,269	6,030	244,695	—	244,695
(2) セグメント間 の内部売上高	1,721	7,975	30	—	7,548	17,277	(17,277)	—
計	42,572	69,772	105,778	30,269	13,579	261,972	(17,277)	244,695
営 業 費 用	35,687	62,939	95,303	25,093	12,720	231,744	(11,648)	220,095
営 業 利 益	6,884	6,833	10,474	5,175	859	30,228	(5,628)	24,599

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,258	69,003	120,340	40,125	4,697	281,426	—	281,426
(2) セグメント間 の内部売上高	1,616	9,768	20	—	8,807	20,213	(20,213)	—
計	48,875	78,771	120,361	40,125	13,505	301,639	(20,213)	281,426
営 業 費 用	40,276	71,014	108,350	35,465	12,883	267,990	(14,376)	253,614
営 業 利 益	8,599	7,757	12,010	4,660	621	33,648	(5,837)	27,811

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	55,898	84,435	142,556	44,090	8,539	335,520	—	335,520
(2) セグメント間 の内部売上高	2,222	10,989	36	—	10,266	23,515	(23,515)	—
計	58,121	95,424	142,593	44,090	18,806	359,035	(23,515)	335,520
営 業 費 用	47,290	85,946	129,421	37,473	17,489	317,621	(15,671)	301,950
営 業 利 益	10,830	9,477	13,171	6,617	1,316	41,413	(7,843)	33,569

（注） 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な製品の名称等

セルロース事業	酢酸セルロース、たばこフィルター用トウ、CMC他
有機合成事業	酢酸及び酢酸誘導体、カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物、半導体レジスト材料、各種医薬中間体、光学異性体分離カラム他
合成樹脂事業	ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂、各種合成樹脂成形加工品他
火工品事業	自動車エアバッグ用インフレーター、航空機搭乗員緊急脱出装置、発射薬他
その他事業	水処理用分離膜モジュール、運輸倉庫業他

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりであります。(単位：百万円)

	前年第3四半期	当第3四半期	前連結会計年度	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	5,628	5,837	7,843	提出会社の基礎研究及び管理部門等に係る費用

4. 事業区分の方法の変更

当第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

前連結会計年度までその他事業部門としておりました一部機能性材料を当連結会計年度より有機合成事業部門へ変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、「有機合成事業」について売上高は1,305百万円、営業費用は1,080百万円、営業利益は225百万円それぞれ増加し、「その他事業」について売上高は1,305百万円、営業費用は1,080百万円、営業利益は225百万円それぞれ減少しております。

(2)所在地別セグメント情報

前年第3四半期(自平成17年4月1日至平成17年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	193,382	39,483	11,830	244,695	—	244,695
(2) セグメント間の内部売上高	30,658	5,682	306	36,648	(36,648)	—
計	224,040	45,166	12,136	281,343	(36,648)	244,695
営業費用	199,720	39,954	11,439	251,115	(31,019)	220,095
営業利益	24,320	5,211	697	30,228	(5,628)	24,599

当第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	214,798	48,719	17,907	281,426	—	281,426
(2) セグメント間の内部売上高	34,349	6,592	1,090	42,032	(42,032)	—
計	249,147	55,312	18,998	323,458	(42,032)	281,426
営業費用	222,696	49,025	18,087	289,809	(36,194)	253,614
営業利益	26,451	6,286	911	33,648	(5,837)	27,811

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	日 本	アジア	その他	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	264,620	54,479	16,419	335,520	—	335,520
(2) セグメント間の内部売上高	42,455	7,963	459	50,878	(50,878)	—
計	307,076	62,443	16,879	386,398	(50,878)	335,520
営 業 費 用	273,778	55,125	16,081	344,984	(43,034)	301,950
営 業 利 益	33,297	7,317	798	41,413	(7,843)	33,569

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア 香港、シンガポール、中国、タイ、台湾、マレーシア

(2) その他 北米、ヨーロッパ

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、「事業の種類別セグメント情報」の「(注) 3」と同一であります。

(3)海外売上高

前年第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	55,879	22,405	78,284
II. 連 結 売 上 高			244,695
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.8	9.2	32.0

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	67,751	31,377	99,129
II. 連 結 売 上 高			281,426
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	24.1	11.1	35.2

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	76,704	31,335	108,040
II. 連 結 売 上 高			335,520
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.9	9.3	32.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア 中国、香港、タイ、シンガポール、韓国、台湾

(2) その他 北米、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、中近東、中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。